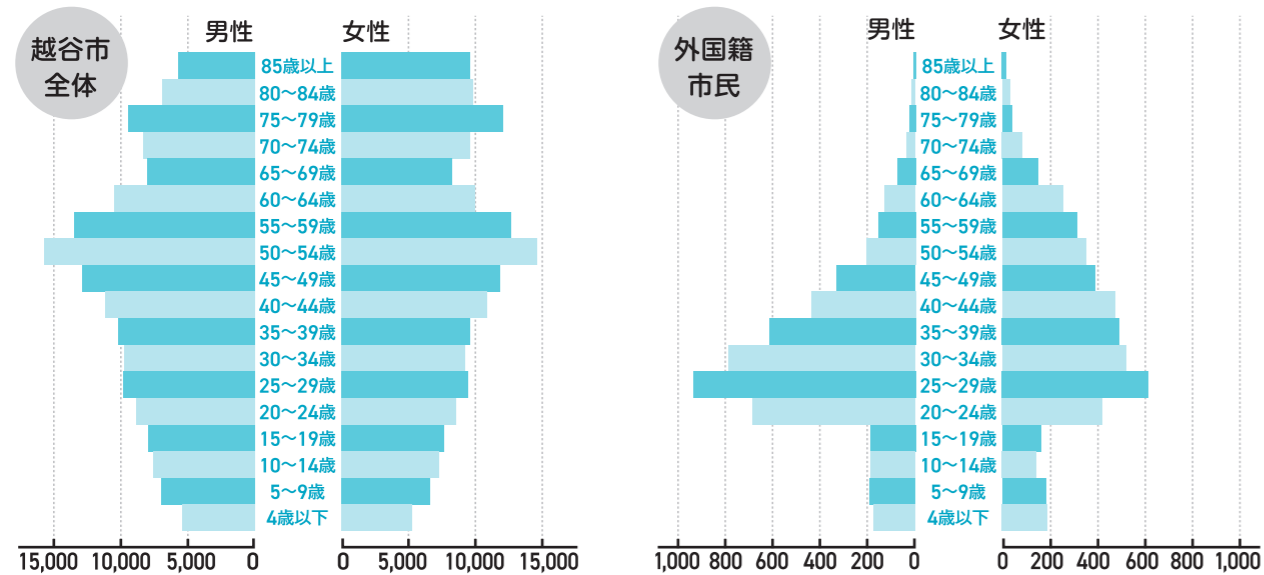


03 | 【資料編】越谷市の現状 令和7年12月1日現在

1 越谷市民全体の状況(年齢別・世帯別)

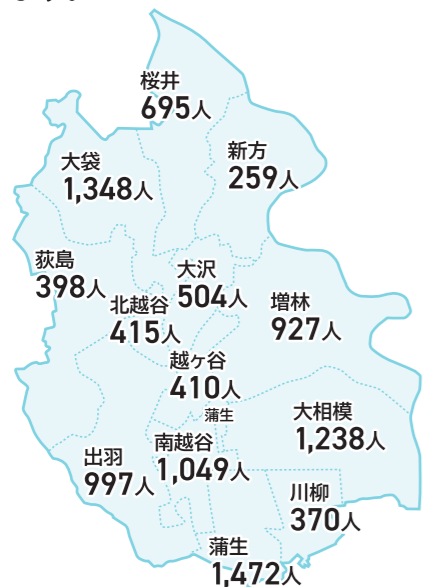
高齢化が進み、65歳以上の人口は全体の約4分の1を占めています。年少人口は約1割強となっており、人口構成に変化が見られます。また、世帯数は増加している一方で、1世帯あたりの人数は減少しています。

単身世帯や高齢者のみの世帯が増えていることが特徴です。外国籍市民については、働く世代や子育て世代の割合が高く、高齢層の増加も見られます。



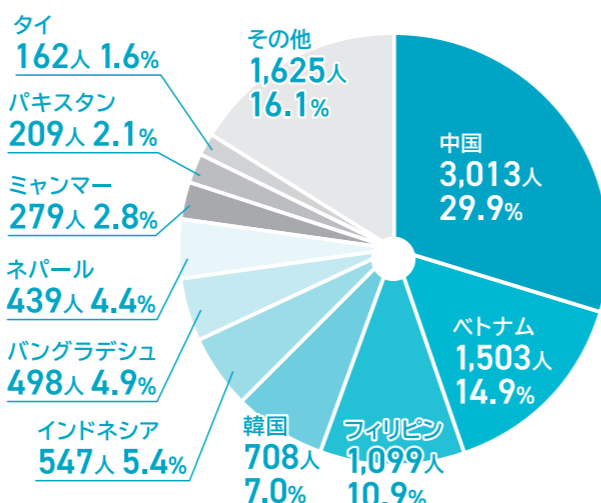
2 外国籍市民の状況

令和7年(2025年)12月1日現在、外国籍市民は10,082人です。総人口の約3%を占めており、市民のおよそ35人に1人が外国籍です。市内すべての地区に外国籍市民が暮らしています。



3 国籍・地域別 外国籍市民数

外国籍市民の国籍・地域別では、中国が最も多く、全体の中で最大の割合を占めています。次いで、ベトナム、フィリピン、韓国、インドネシアの順となっており、さまざまな国・地域にルーツを持つ人々が暮らしています。



第2次 越谷市多文化共生推進プラン

概要版

01 | プラン改定の背景と意義

1 プラン策定の趣旨

本市では、近年、他市と同様に、市民の多様化が進んでいます。平成元年(1989年)に1,360人だった外国籍市民数は、令和元年(2019年)12月には7,006人、そして令和7年(2025年)12月には10,082人、本市の総人口に占める割合も2.95%となりました。国籍・地域別に見ても92と、多様な背景を持つ市民が越谷市で暮らしています。

越谷市では、令和2年(2020年)度からこれまで、「越谷市多文化共生推進プラン」(以下、第1次プラン)をもとに市役所での多言語対応や多文化共生推進事業等、さまざまな取組を行ってまいりました。令和7年(2025年)度に現行プランの計画期間満了を迎えるにあたり、以下の目的から「第2次越谷市多文化共生推進プラン」を策定いたしました。

- これまでの取組の見直し
- 現在の社会情勢の考慮
- 越谷市の現状、市民の声の反映

➡ 相互理解のもと、誰もが安心・安全に暮らす共生社会の実現

2 プランの位置づけ

本プランは、「第5次越谷市総合振興計画」で掲げた目標①「多様な人が交流し、参加と協働により発展するまちづくり」を推進するため、その内容をより具体的かつ体系的に整理した分野別計画として位置づけます。

また、令和2年(2020年)に総務省が改定した「地域における多文化共生推進プラン」及び「埼玉県多文化共生推進プラン」の内容とも整合を図り、本市独自の現状や課題を反映したものとします。

3 プランの期間

本プランの計画期間は、令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)までの5か年計画とします。ただし、社会経済情勢や市民意識の変化などにより、必要に応じて見直しを行うこととします。

02 | 多文化共生に向けたビジョン

基本目標
1

円滑にコミュニケーション できるまちづくり

ことばや文化のちがいがある人にも、必要な情報を届けます。
また、困ったときに相談できる環境を整えます。
適切な支援を通して、だれもが安心して
コミュニケーションできるまちを目指します。

施策1 情報の多言語化と相談体制の充実

市からのお知らせや生活に必要な情報を、多言語や「やさしい日本語」で発信します。窓口や相談体制を充実させ、困ったときに安心して相談できる環境を整えます。

施策2 日本語に関する支援

日本語教室の充実や学習機会の提供を通じて、日常生活や就労に必要な日本語力の向上を支援します。こどもや保護者への日本語支援も進めます。

施策3 日本社会の理解に関する支援

日本の生活ルールや制度、防災、学校の仕組みなどについて、わかりやすく伝えます。地域で安心して暮らすための基礎知識を学ぶ機会をつくれます。

基本目標
2

安全で、暮らしやすい まちづくり

子育て、教育、医療、防災、住まい、仕事など、生活に必要なことの不安をなくし、安全に暮らせる環境を整えます。すべての市民が安心して生活できるまちをつくれます。

施策1 保育・教育

外国につながるこどもが安心して学べるよう、日本語指導や学習支援を行います。保護者にも入園・入学に関する情報をわかりやすく届けます。

基本目標
1

円滑に
コミュニケーション
できるまちづくり

基本目標
2

安全で、
暮らしやすい
まちづくり

基本目標
3

地域に関わり、
参画できる
まちづくり

基本理念

多様性を尊重し、共に作り、
だれもが安心して暮らせるまち

越谷

施策2 防災・防犯

アプリやパンフレットなどを活用し、災害や防犯に関する情報を多言語で伝えます。地域と連携し、非常時にも安心できる体制を整えます。

施策3 医療・保健・福祉

医療機関や福祉制度の情報をわかりやすく発信します。関係機関と連携し、必要な支援につながる仕組みを整えます。

施策4 居住

住宅に関する情報提供や相談支援を行い、安心して住まいを確保できるよう支援します。

施策5 労働

就労に関する情報提供や相談支援を行います。関係機関と連携し、安心して働き続けられる環境づくりを進めます。

基本目標
3

地域に関わり、 参画できるまちづくり

すべての市民が地域の一員として活動に参加し、力を発揮できる環境をつくれます。
自治会やボランティア等において、外国人市民が活躍できる機会を設け、多様性をまちの力へとつなげます。

施策1 外国人市民の社会参画

外国人市民が地域活動やまちづくりに参加できる機会を広げます。意見を市政に反映できる仕組みづくりを進めます。

施策2 多文化共生社会に対する意識啓発

講座やイベントなどを通じて、多文化共生への理解を深めます。

施策3 多様性を活力とする人材育成

多文化共生を担うボランティアやキーパーソンを育成を進めます。多様な背景を持つ人材が活躍できる環境を整えます。

施策4 キーパーソン・ネットワークの構築

外国人コミュニティをはじめとした地域団体の中心となる方とのネットワークを構築し、情報や人材をつなぐ仕組みを整えます。

施策5 地域における国際交流

地域での交流イベントや活動を通じて、日本人と外国人のつながりを広げます。日常の中で交流できる場づくりを進めます。

施策6 外国との国際交流

海外都市や関係団体との交流を進めます。越谷の魅力を発信し、相互理解を深めます。

